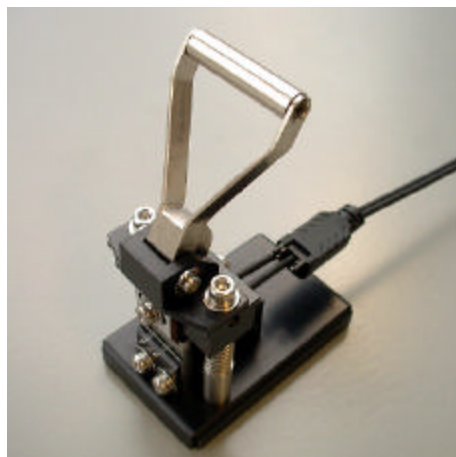


SMI プラグ用 余長カッター

SMI 専用の余長カッター
手のひらサイズで、より使いやすくなりました。

THC-335



余長カッターとは、端面の仕上げ工程であるホットプレートの前に、ファイバ端面を一定長で切断する工程で仕様するツールです。

毎年、進化を続ける余長カッターツール・・・実は、ホットプレートをきれいに仕上げるポイントは、この工程のでき次第なのです。三菱レイヨンは、広くお客様のご要望を受け、どこでもより容易で安定した制作ができることをめざし、高性能でハンディーな余長カッターを作りました。

新機能

- ・新開発のカム機構搭載で、ファイバ端面が更にきれいに仕上がります。
- ・2枚の刃によるカットで、割れが発生しなくなりました。
- ・プラグの押さえにロックがつかまりました。
- ・光ファイバが挿入しやすくなりました。
- ・プラグのカシメも同時にできます。
- ・手のひらの上で加工できる小型サイズ。重量も更に軽く、わずか90gになりました。

対象光コード

SH4002, SHV4002, SHCP4002, GH4001, GHV4002, GHCP4002, MH4002, MHV4002
その他 光ファイバ径 1.0mm コード径 2.2mm × 2心の光ファイバコード

対象光プラグ

RFA4412AP (SMI タイプ / 光ファイバ径 1.0 / ホットプレート用)

THM-320の刃は消耗品ですので、数百回程度を目処に交換していただくことをお勧めします。

THC-335用 交換刃セット THCU-326

三菱レイヨン株式会社

情報材料事業部 光デバイス部

〒108-8506 東京都港区港南 1-6-41
TEL.03-5495-3035 Fax.03-5495-3212
Homepage : <http://www.pofeska.com/>
E-mail : info@pofeska.com